

ミニシタ
あぜみち通信

* * * * *

平成30年12月1日

第216号

編集・発行（一社）愛知県農業会議

◎ **地域協議会を開催しました**

11月1日に安城市において西三河地域協議会（杉浦英彦会長）、11月5日に「三の丸庁舎」において尾張地域協議会（熊澤宣明会長）を開催しました。

主な協議事項は、①農地利用最適化推進委員・農業委員の現場活動の促進及び②上乗せ報酬条例の整備、農地利用最適化交付金の活用です。

①については、推進委員（農業委員）の現場活動の取組状況は、農地パトロールが中心となっていますが、人・農地プランなど地域での話し合いへの参加、農地中間管理機構との打合せなども行われています。

②については、現場活動の最適化交付金を活用している委員会が徐々に増加している一方で、引き続き慎重な姿勢を維持している委員会もあります。

◎ **巡回支援を実施しました**

11月2日に一宮市役所において、一宮市、春日井市、小牧市及び稲沢市の農業委員会に対する巡回支援を実施しました。主なテーマは、推進委員・農業委員による現場活動の促進、農地情報公開システム（全国農地ナビ）の運用上の問題、農地利用最適化交付金の活用及び上乗せ報酬条例の整備のほか農業委員会から提起された諸課題等です。

◎ **常設審議委員会（農地）の審議状況について**

11月6日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

11月の諮問は、農地法第5条に基づく転用事案14件、99,527㎡についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

◎ **愛知県市部農業委員会会長会定例総会が開催されました**

11月8日に西尾市の「西尾コンベンションホール」において、平成30年度愛知県市部農業委員会会長会定例総会が開催されました。

開催地である西尾市の石川農業委員会会長の挨拶の後、岩田市部農業委員会会長会会長（名古屋市農業委員会会長）から主催者として開会の挨拶がありました。

総会では、平成29年度事業報告、平成31年度収支予算、規約の改正等についての議案が提出され、いずれも承認されました。

また、名古屋市農業委員会から提出された「農地利用最適化推進指針の策定について」及び蒲郡市農業委員会から提出された「新規就農者が農地を借りる際の要件について」を議題として、情報交換がなされました。

次に、情報提供として、県農業経営課の堤主任主査から「国家戦略特別区域農業支援外国人受入事業について」と題して、事業の仕組、農業者が特定機関（労働者派遣事業者）から外国人材の派遣を受ける際の留意事項等について説明がありました。

◎ 愛知県ＪＡ大会が開催されました

11月13日に名古屋市熱田区の「名古屋国際会議場」において、第15回愛知県ＪＡ大会が開催されました。

初めに愛知県農業協同組合中央会の前田隆会長が大会会長として挨拶を述べ、優良農業協同組合、農業協同組合功労者、農業協同組合特別功労等の表彰の後、大村愛知県知事他の来賓が祝辞を述べました。

議事においては、次の三つの議案が提案され、いずれも全会一致で採択されました。

第1号議案 組合員が所得向上を実感できる農業を総力を挙げて実現する。

第2号議案 地域の特性に応じた事業・活動・相談の融合により組合員のくらしを支援する。

第3号議案 組合員の願いを実現できる活力あるＪＡをつくる。

終わりに、組合員の一層の参加・参画、組織の協同の力の結集等を内容とする大会宣言が採択されました。

◎ 農業支援外国人適正受入事業に係る研修会を開催しました

11月16日に豊橋市の「豊橋商工会議所」において、「農業支援外国人受入事業に係る研修会」を開催しました。農業経営体等から約20人が出席しました。

愛知県は、国家戦略特区の制度を活用して、「農業支援外国人受入事業」に取り組んでおり、既に県内の農業経営体で外国人材の受入が始まっています。

この事業は、農業経営体が直接に労働者を雇用するのではなく、派遣事業者（特定機関）から労働者の派遣を受ける仕組となっています。また、派遣を受ける農業経営体には、雇用経験、法令違反の有無など満たす必要がある八つの要件があります。

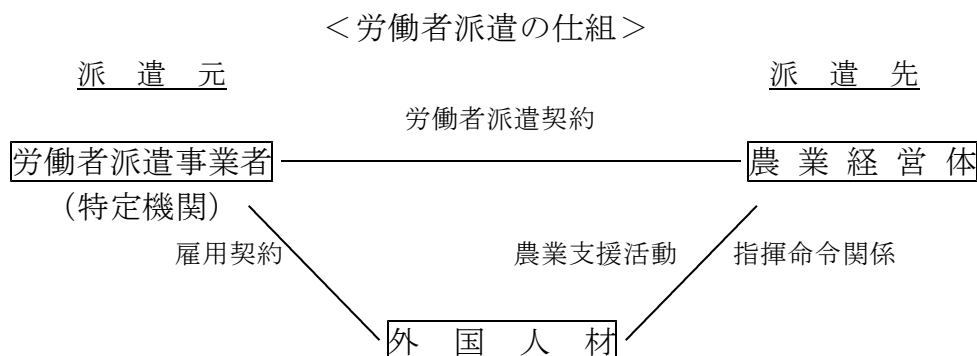
愛知県農業会議としても、人材確保の重要性に鑑み、地域における外国人材の受け入れを支援するため、(一社)全国農業会議所との共催により、農業経営体向けの研修会を開催したものです。

初めに、農業会議から農業支援外国人受入事業のあらましを説明した後、「派遣先責任者講習に準ずる講習」(※)として、特定社会保険労務士の山東春美氏から労働者派遣法等について説明していただきました。

なお、農業会議では、12月7日にも名古屋市中区の「アイリス愛知」において、の同様の説明会を開催する予定です。

※派遣先責任者講習に準ずる講習

外国人材の派遣を受けるための八つの要件の一つに「雇用経験があるか派遣先責任者講習等を受講した者を責任者としている」があり、今回はこの「等」に該当する講習です。



◎ 農林水産省が農業委員会及び農業会議に対する活動促進キャラバンを実施しました

11月20日に農林水産省経営局農地政策課の杉原経営専門官（農業委員会グループ）が豊田市農業委員会（横籾 鈞会長）、豊橋市農業委員会（内藤喜章会長）を訪問し、それぞれの会長、推進委員、事務局から農地利用最適化の推進について状況を聴取しました。併せて県内の取組状況に関する農業会議の聴取も実施され、事務局長他が対応しました。東海農政局農地政策推進課及び県農業振興課に同席いただきました。

杉原経営専門官からは、農業委員会に対しては、推進委員（農業委員）の活動により得られた情報の活用、関係機関との情報の共有、委員に必要な知識、技術の習得のための研修等について依頼があり、農業会議に対しては、農家の戸別訪問を始めとする現場活動の促進に向けた支援、農地利用最適化交付金活用及び上乗せ報酬条例整備の促進、農地ナビの利活用等について依頼がありました。



【杉原経営専門官】

◎ 常設審議委員会（農政）の審議状況について

11月22日に「愛知県三の丸庁舎」において、「農地利用最適化の推進に関する対応」について協議するための常設審議委員会を開催しました。

事務局から農地利用最適化の推進に関する現場活動の現状を始め、農地利用最適化交付金の活用及び上乗せ報酬条例の整備の見込み、10月から11月にかけて開催した地域協議会の開催結果、11月20日の農林水産省経営局農地政策課のキャラバンの結果等について説明しました。

豊田、豊橋の両会長から11月20日の状況について紹介がなされた後、各委員から「水田の貸借はJAが中心で対応しており推進委員の位置づけが難しい」「中山間地域は担い手が一際減少しており、実態にそぐわない絵を書いても意味がない」「市街化区域など都市地域における推進委員の活動のあり方が課題である」「農地利用集積円滑化事業による利用集積は定着しており、農地中間管理事業の5年見直しの中で推進委

員の役割も変化するようだが、J Aがこれまで果たしてきた役割を重視すべきである」など様々な意見が出されました。

これらの意見を踏まえまして、平成31年度の事業計画など今後の対応を検討してまいります。

◎ 農業委員会業務の推進に関する説明会を開催しました

11月26日に名古屋市中区の「桜華会館」において、東海農政局農地政策推進課及び愛知県農業振興課のご協力の下、農業委員会業務の推進に関する説明会を開催しました。農業委員会事務局職員等約70人が出席しました。

説明事項は、①農業経営基盤整備強化促進法等の改正及び②農地利用最適化交付金の活用に係る実務の二つです。

このうち、①については、相続未登記農地の利用を促進するための新たな制度及び底面の全部がコンクリート等で覆われた農業用施設について農地転用に該当しないものとして取り扱う新しい規定について、農林水産省経営局農地政策課の大浦農地流動化調整官他から説明していただきました。

出席者からは、所有者不明農地について新し手続により利用権が設定された後に所有者が現れた場合の取扱や農作物栽培高度化施設において農作物の栽培を行うべきである旨の勧告を行う際の「相当の期限」の定め方等について質問が出されました。

次に、②については、県内における農地利用最適化交付金の活用について、県農業振興課からの説明の後、現にこの交付金を活用している豊橋市農業委員会事務局から活動報告書等への記入の仕方など実際の事務処理についてご紹介をいただきました。

出席者からは、活動報告書にどこまで具体的に記載するか、また日々の活動報告書と月ごとの活動記録簿の関係などについて質問が出されました。

なお、農業委員会には通知済みですが、12月13日に開催予定の全国農地ナビ・農地利用最適化交付金説明会においても、今回の説明会の②について再度説明する予定です。

◎ 農業経営士等の認定式が開催されました

11月27日に名古屋市中区の愛知県庁本庁舎正庁において、大村愛知県知事出席の下、「平成30年度農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士認定式」が開催されました。

農業経営士50名、農村生活アドバイザー27名、青年農業士30名が認定され、農業経営士は山口康幸氏(大府市)、農村生活アドバイザーは清田茂代氏(田原市)、青年農業士は酒井久憲氏(岡崎市)がそれぞれ代表となり、大村知事から認定証書が授与されました。

認定証書授与後、大村知事の挨拶に続き、農業経営士、農村生活アドバイザー、青年農業士の認定者代表から今後の抱負とお礼の挨拶があり、来賓を代表して神谷豊秋愛知県農業経営士協会会長が祝辞を述べました。

また、認定式後、株式会社経営技術研究所の藤井春雄代表取締役による「カイゼン・人財育成による企業成長」と題する記念講演が行われました。

◎ 全国農業委員会会長代表者集会在開催されました

11月29日に東京都港区の「東京・メルパルクホール」において、一般社団法人全国農業会議所主催の平成30年度全国農業委員会会長代表者集会在開催されました。

冒頭、全国農業会議所の二田会長から、全ての農業委員会において新体制への移行が完了するとともに、農地中間管理事業の施行後5年見直しの中で地域の話し合いにおける推進委員や農業委員の役割についての法的整備が議論されている状況を踏まえて、農地利用の最適化に取り組んでいく必要がある旨の主催者挨拶がありました。

続いて、農林水産省の山北審議官から次のような内容の講話がありました。

- ・農地の利用調整は、難しい面がある。反省すべきは反省し前へ進めていきたい。通常国会に臨むことになるが、地域の話し合いなど現場活動が重要であると考えている。
- ・農地の利用集積は進み、担い手におよそ52%集まってきたが、政策目標の80%には及んでいない。団地化、集約化で生産性を向上させるため、農地中間管理事業（農地バンク事業）が役割を担う。
- ・5年後、10年後の地域の絵姿を描いて進めていく必要がある。中山間地域は難しいが、農地をまとめることができれば他地域から担い手が現れた事例もある。集落において話し合いの基盤や土俵があってやりやすいところから進むということもある。
- ・地図を用意して、誰が耕作しているか、また年齢や後継者の有無が分かるようにすることが話し合いの土台になるとよいと思う。将来は農地を誰に任せるのか大枠の議論をする際に火付け役として農業委員、推進委員に活動していただきたい。
- ・農地中間管理事業については、手続の簡素化を図るとともに、担い手の負担を軽減したい。市の公社、農地利用集積円滑化団体、JA等により地域で利用調整が図られてきた経緯が利用配分計画の作成に反映されるように検討している。地域集積協力金は、出し手への支援から受け手を含む地域に対する支援へと見直していきたい。
- ・市町村域を越える担い手が存在することから、認定農業者制度のあり方も検討する。

大会は二部構成で行われ、第一部では、「農地利用の最適化の実現に向けて～3カ年運動の点検と新たな運動の展開に向けて～」をテーマに、パネリストに渡部山形県鶴岡市農業委員会会長、西田福井県小浜市農業委員会会長、徳永福岡県みやま市農業委員会会長、助言者に緒方賢一高知大学教授を迎えてパネルディスカッションが行われました。

これを受けて、農地利用の最適化の取り組み強化に向けた申し合わせ決議及び「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議を採択しました。

第二部では、農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請決議を採択し、片山岡山県農業会議会長の発声によりガンバロー三唱を行い、集会を終了しました。

要請決議については、参議院議員会館において、愛知県選出の自由民主党国会議員の皆様川上農業会議会長及び熊澤一宮市農業委員会会長を始めとする代表から要請活動を行いました。



川上会長（前列中央左） 藤川県連会長（前列中央右）

◎ 愛知県花き温室園芸組合連合会60周年記念行事が開催されました

11月29日に名古屋市中区の「ホテル名古屋ガーデンパレス」において、愛知県花き温室園芸組合連合会60周年記念行事が開催されました。初めに、中神亨三会長から花きの消費を拡大し、花き業界を盛り上げていきたい旨の主催者あいさつがありました。

シンポジウムにおいては、宇田花づくり研究所の宇田明氏が「あいちの花100年をめざして」と題する基調講演を行った後、宇田氏と豊明花き(株)の福永哲也氏が「花き業界の未来予想図」をテーマに花きの需要を伸ばすための方策について対談を行いました。続いて、60周年記念功労者表彰において、知事表彰7名、会長表彰19名の生産者に表彰状が贈呈され、大村愛知県知事が祝辞を述べました。

◎ 平成30年7月豪雨災害義援金へのご協力へのお礼

西日本を中心に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」について、農業委員会組織においては、全国農業会議所がとりまとめ役となって災害義援金を募集しました。本県では、次の農業委員会及び関係者から合計で86万円に上る義援金を寄付していただきました。ご厚意に対し厚く御礼申し上げます。

瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、尾張旭市、豊明市、大口町、扶桑町、愛西市、あま市、大治町、東海市、大府市、知多市、東浦町、武豊町、岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市、豊田市、みよし市、設楽町、豊橋市、豊川市、蒲郡市
愛知県稲作経営者会議、(一社)愛知県農業会議(順不同)

◎ 今後の主な行事予定

- 1 2月 5日 常設審議委員会・臨時総会(三の丸庁舎)
 - 1 2月 7日 農業支援外国人適正受入事業に係る研修会(中区・アイリス愛知)
 - 1 2月 12日 東海近畿ブロック女性農業委員・推進委員研修会(静岡県)
 - 1 2月 13日 全国農地ナビ・農地利用最適化交付金説明会(三の丸庁舎)
 - 1 2月 19日 平成30年度愛知農業賞表彰式(中区・JAあいちビル)
 - 1 2月 21日 農林畜産物品評会表彰式等(熱田区・熱田神宮会館)
- 平成31年
- 1月 9日 常設審議委員会(三の丸庁舎)